

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1228 NO69

校長 伊波喜一

人のため 明かり灯すと 我が前が 明るくなるは 不思議なりけり
花粉で実を結ぶ植物は、蜂など昆虫の力を借りて受粉する。それ
だけではなく、周りの畑から花粉が飛んできて受粉をすることも多
い。つまり、必ずしも自分の畑のおしべとめしべの花粉どうしが受
粉するとは限らないのだ。 ある農家の茄子の実があまりにも見事
なので、皆その種を欲しがった。その農夫は、求められると気前よ
く種を分けた。我も我もと種を欲しがると人達が、農夫の家に訪れた。
そのうちに、その村だけでなく近辺の人達にまで農夫の種が広まっ
ていった。やがて村々の茄子の収穫が高まり、全体が大いに潤った
という。 良い実を作ろうと思ったら、自分の畑だけでは出来ない。
周りの畑にも、良い種を植えなければならない。お互いの畑が良くな
れば、全体の収穫量も自然と高まっていくからだ。私達はついつ
い、近視眼的に物事を見てしまいがちだ。しかし、自分だけ良くな
ろうと思っても、それでは上手くいかない。自分にはないものを相手
は持っている。そのことを謙虚に受けとめ、認め、そして讃えあえ
る集団であれば、自ずから果実は豊かに実を結ぶのではなかろうか。